

小布施町では、図書館事業について、町立図書館「まちとしょテラソ」を視察しました。誰にでも親しまれる情報サロンとして活用できる図書館の新設が待望され、平成21年7月に開館しました。



新図書館は、「テラソ百選」と題して毎月テーマを決め100冊程度の本を展示したり、ワークショップや創作活動の表現の場として活用するなどして運営されています。

また、街なかのお店や銀行等に本を並べ、そこを訪れる人が本と交流できるような「まちじゅう図書館」を16館で行っています。この活動には規約がなく、町からの補助金もないとのことで、小布施町民の自立や信頼感を感じることができました。

図書館は、こうでなければ、こうあるべき、という考えにとらわれずに、いかに楽しんでもらえるか、ということにも気を遣うことが、活気のある図書館運営につながるのではないかと考えます。

産業建設常任委員会

魅力ある農業の活性化のために 7月11日 鴻巣市 嵐山町

鴻巣市では5月に開催されていたポピーまつりについて視察しました。ポピー



まつりの会場は、日本一の川幅を有する荒川の河川敷を利用してあり、広大な土地に咲く色とりどりのポピーが楽しめるそうです。

もともとは不法投棄が問題となっていた河川敷を何とかしたいと始めた事業とのことでした。不法投棄を抑制する環境づくりを目指し、花(ポピー)の栽培による環境保全と負担のない監視(観光地化に伴う来場者による監視)を対策として打ち出しました。

その結果は、観光客による監視の目も働き、不法投棄の問題は改善され、さらに、ポピー栽培による農業の活性化や観光による市の盛り上がり等複数の効果が得られたとのことでした。

嵐山町では、「千年の苑」と銘打たれたラベ

ンダー園を視察しました。8万㎡もの広大な土地一面にラベンダーが咲く園内は、圧巻の一言でした。この事業区域は、大規模農家の事業縮小に伴い生じた休耕地と耕作放棄地になりかけていた周囲の農地とを、周りの農家の方の協力のもとにつなぎ合わせ準備したそうです。こちらも農業の活性化という目的の達成のみならず、観光地化による町のPR、さらにはラベンダーのオイル精製などの商品化までつながる事業になっていました。

これらの事業の良い点は、課題のある地域の改善を図りながら、更に別の効果も得られている点だと思えます。両市町とは状況は異なりますが、当市でも参考にすべき点があると考えます。当市でも、市の特色を生かし、農業の活性化につなげてまいりたいと思えます。



議員の 本会議欠席 について

「細井公議員の本会議欠席の件」につき以下の通り報告いたします。

8月29日 9月定例議会本会議開催日に正当な理由なく欠席。

9月 2日 本会議冒頭で本人より事情説明および謝罪。

9月 3日 複数の新聞などにより報道。

9月 4日 議長より本人に対し口頭厳重注意。

9月30日 本人から謝罪文の提出。

議会としては、本会議での謝罪をしたこと、新聞報道により社会的制裁をうけたこと、議長からの口頭厳重注意を受けたことで、これ以上の懲罰はしないこととしました。